

予算審査 特別委員会

令和7年度の 広川町政

町議会は3月10日、予算審査特別委員会に
で、各課から説明を受け審査しました。

合併浄化槽の補助額引き上げ

- Q 浄化槽整備事業費について、町の単独の上乗せ分についての説明を。
- A 浄化槽の設置数が少なくなってきた。ある程度補助を手厚くしないと厳しい家庭もあることを考慮した。7年度から、工事基準額の5割を補助する。

带状疱疹の予防接種は

- Q 带状疱疹ワクチンの接種について、対象年齢は。
- A 令和7年4月から定期接種になる。令和7年度の対象年齢は65歳以上、5歳さざみで行う。ワクチンは2種類あり生ワクチン、不活化ワクチンから選べる。

スポーツ、文化の取り組みは

- Q 文化連盟は、高齢化などにより減少傾向ではと思うが、補助金の予算は現状維持になっているが。
- A 高齢化により人数は減少しているが、自主サークル自体は数が増えている。
- Q 町民体育大会の代わりに「スポひろ」に変わったが、限られたスポーツになり全員参加型から絞られた感じがある。令和7年度は種目を新たに变えるなどは検討しているか。
- A 種目は年度ごとに変えていく。理想としては、「スポひろ」で種目に出るため練習したり、新たなスポーツに挑戦したりとスポーツを始めるきっかけにしたい。健康寿命の延伸に努める事も目的としている。



ホークス野球教室

広川町教育支援センターは

- Q 教育支援センターの設置についての説明を。
- A 教育支援センターは、現在広川町になく、八女市の「あしたば」に通っている。不登校及び不登校傾向にある児童生徒が、通いやすいよう、令和8年度の町内設置に向け準備を進める。

滞納対策は

- Q 不納欠損の対策として、電子化するとあるがどういったものか。
- A ピピットリンクというシステムを導入する。預貯金の照会を紙で行っていたが準備の手間、郵送料がかかる。電子化することで迅速かつ事務の手間も簡略化できるようになる。
- Q 以前セルフレジを導入したが、セルフレジとの違いはあるのか。
- A 今回のセルフフレジは、会計係の方に置くレジで現金での支払いに対応する。今後役場内の銀行窓口が廃止になるため、会計係で収納を行う。